

各 位

会社名 株式会社 ヤギ
 代表者名 代表取締役 社長執行役員 八木隆夫
 (コード 7460 東証スタンダード)
 問合せ先 経営管理部長 平松 帝人
 (TEL 06-6266-7332)

通期連結業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2022年2月7日に公表いたしました2022年3月期通期連結業績予想及び配当予想を、下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

I. 通期連結業績予想の修正について

1. 2022年3月期通期連結業績予想の修正 (2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想 (A)	77,000	1,000	1,350	650	78円07銭
今回公表予想 (B)	77,524	1,108	1,340	359	43円27銭
増減額 (B-A)	524	108	▲10	▲291	
増減率 (%)	0.7%	10.8%	▲0.7%	▲44.8%	
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	114,240	2,040	2,317	1,525	184円00銭

※当第1四半期連結会計期間の期首から「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用しております。

2. 修正の理由

当連結会計年度における我が国経済は、収束の兆しが見えない新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、度重なる緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の発出により、企業活動や個人消費が左右され、依然として厳しい状況が続きました。

このような状況の下、アセアンにおけるロックダウン措置等に伴う生産工場の大幅な稼働率低下や、他地域への短納期での振替生産によるコストアップ、加えて原材料価格や物流経費の高騰、円安基調による原価の上昇など、これらの原価上昇要因を販売価格へ転嫁することが困難であり収益の悪化を招きました。また、コロナ関連商材の需要が大きく低下し、一部商材での利益確保も難しくなっております。

さらに上記の厳しい経営環境の中、一部の出資先においても事業計画の進捗が見られず早期回復の見込みが立てづらいと判断し、当期において投資有価証券評価損、固定資産減損損失、子会社株式評価損及び貸倒引当金繰入を計上することになりました。

以上の状況を踏まえ、2022年3月期の通期連結業績予想を修正するものであります。

II. 配当予想について

1. 2022年3月期配当予想

	年間配当金		
	第2四半期末	期 末	合 計
前回予想 (2022年2月7日公表)		48円00銭	48円00銭
今回公表予想		40円00銭	40円00銭
当期実績	0円00銭		
前期実績 (2021年3月期)	0円00銭	48円00銭	48円00銭

2. 配当予想公表の理由

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営上の重要課題のひとつとして認識しており、安定した配当の継続と、経営基盤の強化に必要な内部留保をバランスよく実施していくことを基本的な考えとしております。

この基本方針と前記I.の通期連結業績予想値の下方修正及び当期末の財政状態等を考慮のうえ、2022年3月期期末配当予想につきましては、2022年2月7日公表の予想値（1株当たり48円00銭）を1株当たり40円00銭に下方修正いたします。

※上記の業績予想及び配当予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上